

JACI「バイオマス変換反応プロセス開発 WG」公開シンポジウム

化学産業の脱化石資源化を拓くー バイオマスから化学品へ：触媒・プロセス開発と社会実装 ー

主催：新化学技術推進協会（JACI）

協賛：一般社団法人触媒学会、公益社団法人石油学会（予定）

【日時】：2026 年 12 月 2 日（水）

【会場】：〒210-0855 神奈川県川崎市川崎区南渡田町 1-1 京浜ビル 8 階 大会議室

<https://www.jfe-life.co.jp/think/index.html>

カーボンニュートラルの実現に向け、化学産業においても化石資源に依存した原料体系から、バイオマス等の再生可能な炭素資源を基盤とする原料体系への転換が求められています。その実現には、新たな触媒・反応プロセスの開発とともに、経済合理性を備えた社会実装が重要です。

本シンポジウムでは、バイオマスから燃料・基礎化学品への転換を中心に、第一線で研究開発を進める研究者・技術者から最新の話題を提供いただきます。また、東京科学大学発スタートアップである iPEACE223 株式会社から、バイオエタノールを原料としたグリーン化学品・燃料製造技術と、その社会実装に向けた取り組みを紹介します。講演終了後には、同地域で稼働中の iPEACE223 株式会社のベンチプラント見学会を実施します。基礎研究から触媒・プロセス開発、社会実装までを俯瞰し、化学産業の脱化石資源化に向けた可能性と課題を議論する機会とします。

なお、今回の開催地である川崎臨海部は、2026 年 9 月、国の「GX 戦略地域（コンビナート等再生型）」に認定され、GX 技術の社会実装拠点として今後の展開が注目されています。

【プログラム】

15:00-16:30 講演会

1. 瀬戸山 亨 様（iPEACE223 株式会社* 代表取締役 CEO）*東京科学大学認定ベンチャー
「カーボンニュートラルは実現できるか？ 科学的本質と経済性の両立：バイオマス化学品に焦点を充てて」
2. 山内 啓史 様（川崎市 臨海部国際戦略本部 土地利用転換推進部）
（仮題）「川崎臨海部GX戦略地域における取組」
3. 高田 慎吾 様（花王株式会社 バイオ・マテリアルサイエンス研究所）
「サステナブル界面活性剤 ～Bio IOS の製造技術開発～」
4. 坂田 忠史 様（konohana 株式会社* 代表取締役）*北大発認定スタートアップ企業
「高機能ケミカルの原料を石油から植物へ - konohana の技術と事業化への挑戦」

16:30-17:00 ベンチプラント見学会

iPEACE223 株式会社

バイオエタノールからグリーン化学品・燃料を製造する触媒プロセスのベンチプラント見学

17:00-18:00 ネットワーキング

講演者・参加者による情報交換（会費制）場所：京浜ビル B1 地下食堂

会費：4,000 円（予定） 当日現金でお支払いください。

【参加申込】

[Google form](#) より 11/20（金）までにお申し込みください。

（ハイパーリンクを開けない場合は、以下のお問い合わせ先までご連絡ください。）

【お問い合わせ】

公益社団法人 新化学技術推進協会（JACI）

「バイオマス変換反応プロセス開発 WG」事務局 日名子 英範

e-mail: hinago@jaci.or.jp